

研究課題名 髄芽腫における Gli3 発現の臨床的意義の検討に関する情報公開

【研究の対象】

名古屋大学医学部附属病院で 2000 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日の間に髄芽腫と診断され手術を受けられた方を対象とします。

【研究の意義、目的】

髄芽腫は小児に好発し、小脳虫部を中心に発生し、髄液播種を起こしやすい特性を有する WHO grade IV に分類される予後不良の未分化悪性腫瘍です。

現在、髄芽腫の治療強度は臨床分類を参考に決定しますが、最近では分子マーカーを用いた新たなリスク分類が行われ、それに基づく治療法の個別化も検討されています。この髄芽腫の分子リスク分類の流れの中で、Gli3 は key molecule となりうる分子であり、今後さらに多くの症例で検証されるべき事項と考えられます。

【研究の方法】

2000 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日の期間に手術で摘出され各研究施設で保管されている髄芽腫標本からヘマトキシリン・エオジン染色標本 1 枚と未染色標本 5 枚を作成し大分大学小児科学講座に送付する。送付された未染色標本で免疫染色を行い、腫瘍の組織型、Gli3 の発現状態、神経細胞やグリア細胞への分化について検討する。その際、腫瘍組織を調べた結果と診療情報（例えば治療効果がどうであったかなど）との関連性を調べるために、患者さんの診療記録を調べさせていただくこともあります。さらに Gli3 と臨床情報との関連を統計学的手法を用いて解析します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況等

試料：手術で摘出した組織等

【保有する個人情報に関して】

研究実施のために把握した個人情報は、本研究目的以外には使用いたしません。使用した検体や臨床情報は、保存期間終了後に個人が特定できない形で破棄します。

研究成果を学会発表等で発表させていただく場合があります。その際には、個人情報に十分に配慮し、個人が特定できない形で行います。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究組織】

大分大学医学部小児科学講座・講師・宮原弘明・教授・井原健二・助教・平野直樹
大分大学小児科大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業・教授・末延聡一
国立病院機構大阪医療センター・臨床研究センター再生医療研究室室長・金村米博
大阪市立総合医療センター・小児血液腫瘍科・副院長・部長・原純一・副部長・岡田恵子・
医員・山崎夏維
大阪大学大学院医学系研究科・脳神経外科・助教・香川尚己
金沢医科大学医学部発生発達医学・小児科・教授・犀川太
岐阜大学大学院医学系研究科・小児病態学講座・併任講師・小関道夫
九州大学病院・小児科学講座・講師・古賀友紀
高知大学・小児科・准教授・久川浩章
佐賀大学医学部附属病院・小児科学講座・助教・西眞範
滋賀医科大学・小児科学講座・講師・多賀崇
自治医科大学とちぎ子ども医療センター・小児脳神経外科・教授・五味玲
筑波大学・小児科学・准教授・福島敬・脳神経外科学・准教授・山本哲哉
千葉県がんセンター・脳神経外科・部長・井内俊彦
徳島大学病院・小児科・講師・渡辺浩良
独協医科大学・小児科学講座・講師・佐藤雄也
東京女子医科大学・小児科学講座・准教授・鶴田敏久
東京大学・小児科学講座・准教授・滝田順子
名古屋大学大学院医学系研究科小児科学・助教・村松秀城・医員・小島大英
名古屋市立大学大学院医学研究科・新生児・小児医学分野・助教・伊藤康彦助教・亀井美智
新潟大学脳研究所・病理学講座・教授・柿田明美・脳神経外科学分野・教授・藤井幸彦・特
任准教授・吉村淳一・助教・棗田 学
日本医科大学千葉北総病院・小児科・准教授・浅野健
兵庫県立こども病院小児がん医療センター・血液・腫瘍内科・部長・長谷川 大一郎

【お問い合わせ先】

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科 小児科 村松秀城

名古屋市昭和区鶴舞 65 （電話 052-744-2294、ファックス 052-744-2309）